

3. 研修会

「専門職向け研修会」活動報告

開催日時：平成 23 年 7 月 30 日（土）

開催場所：近森病院管理棟 3 階 会議室 1・2

研修会名：「前頭葉障害者の家族教室」

講師：帝京平成大学大学院 教授 中島 恵子氏

時間：9：00～11：30

主催：高次脳機能障害相談支援センター（高知ハビリテーリングセンター）

参加者数：53 名

職種別参加者数

相談員	12名
作業療法士	10名
ケアマネージャー	8名
心理士	5名
CW	5名
生活支援員	2名
職業カウンセラー	2名
精神保健福祉士	2名
看護師	2名
保健師	1名
言語聴覚士	1名
医師	1名
その他	2名
合計	53名

<徳島県>

徳島では、回復期リハビリテーション病院などとの連携を深めるために、高次脳機能障害連絡協議会を立ち上げ、月に1回程度（5/12, 7/21, 9/22, 10/27, 12/8）症例検討会を開催すると共に、見当識・短期記憶・半側空間無視・注意力・遂行機能テストを組み合わせた高次脳機能障害スクリーニングテスト徳島版（Higher Brain Dysfunction Screening Test in Tokushima, Hibrid-STT と略す）を作成し、共通試用している。国の研究事業としての「地域における高次脳機能障害支援ネットワーク構築」活動は、四国地区にも大きな意識の変化と支援体制基盤の構築に成果を上げ、学会及び雑誌に発表した。

<精神障害者保健福祉手帳>（2011年11月30日現在）

【全体】

	1級	2級	3級	合計(人)
平成20年度	959	1510	415	2884
平成21年度	950	1687	497	3134
平成22年度	929	1777	588	3294
平成23年度	928	1844	663	3435

【高次脳機能障害】

	1級	2級	3級	合計(人)
平成20年度	15	18	8	41
平成21年度	15	21	8	44
平成22年度	17	29	9	55
平成23年度	14	30	13	57

<高次脳機能障害者支援事業関係職員研修会（専門研修）>

開催日：平成23年12月1日（木）

徳島大学大学院地域医療福祉学分野 白山 靖彦 先生

「高次脳機能障害に対する医療・福祉連携」

<地域支援ネットワークづくり検討会議>

開催日：平成24年2月21日（予定）

場 所：精神保健福祉センター

- 検討内容
- 1) 現在の支援状況
 - 2) 模擬症例を用いた検討
 - 3) 情報・意見交換等

構成員 医療機関（中支援施設・関連協力施設）と、地域福祉の窓口になりえる機関

- ・ 医療機関（徳島大学病院 他に3病院）のリハビリ担当者・ソーシャルワーカー等実務者
- ・ 指定相談支援事業所（3箇所）
- ・ 徳島県社会福祉協議会
- ・ 徳島県社会福祉士会
- ・ 徳島市障害福祉課
- ・ 県（保健所 障害者相談支援センター 精神保健福祉センター）

<第57回四国公衆衛生学会総会・平成23年度四国公衆衛生研究発表会>

開催日：平成24年2月3日

会場：あわぎんホール(徳島県郷土文化会館、徳島市)

シンポジウム：高次脳機能障害者に対する取り組みの現状と問題 ―徳島県を例に―

コーディネーター：徳島大学大学院 HBS 研究部 地域医療福祉学 白山靖彦

演題1：高次脳機能障害診断・評価と医学的リハビリテーション

徳島大学大学院 HBS 研究部 脳神経外科学分野 永廣信治

演題2：器質性精神障害と高次脳機能障害 ―地域支援ネットワークを目指して―

徳島県精神保健福祉センター 石元康仁

演題3：高次脳機能障害者に対する医療・福祉連携のあり方と他地域モデルの紹介

徳島大学大学院 HBS 研究部 地域医療福祉学 白山靖彦

<学会発表>

中村和己、高次脳機能障害を呈しながらも長期にわたり受診に至らなかった軽度外傷性脳損傷（MTBI）の1例、第35回日本高次脳機能障害学会学術総会、2011年11月11-12日、鹿児島

遠藤泰弘、黒田早耶、福島直美、長束友香、事故により高次脳機能障害を呈した患者への評価と復職へのアプローチ～家族・職場カンファレンスを通して～、第35回日本高次脳機能障害学会学術総会、2011年11月11-12日、鹿児島

福島直美、長束友香、黒田早耶、上河めぐみ、遠藤泰弘、国貞智子、田中幸子、四宮理津子、藤本祥多、永廣信治、中村和己、『高次脳機能障害者に実施したスクリーニングテスト（徳島版）』の試用と有用性[第2報]症例を通しての検討、第35回日本高次脳機能障害学会学術総会、2011年11月11-12日、鹿児島

<誌上発表>

和泉唯信、中村和己、永廣信治、行政的な「高次脳機能障害」の診断、四国医学雑誌、67: 29-34, 2011

徳島県家族会「すだち」

<2011 年度活動報告>

1. 平成 23 年 10 月 16 日日本損害保険協会リハビリテーション講習会を開催した。
2. 平成 23 年 1 月 22 日第 4 回総会、平成 24 年 1 月に第 5 回総会を開催した。
3. 定期交流会議を第 3 土曜日とし、毎月 2 時間交流会議を開催した。
4. 当事者・家族の交流会 「たらいうどん交流会、定例交流会議
5. 役員会議 8 回開催
6. 季刊誌の発行 3 回
7. 第 11 回脳外傷の会全国大会に参加(福永さん表彰)

<今後の取り組み>

1. 交流会の定例化、内容充実
2. 会員間の渾身交流会開催
3. 関係行政機関等との懇談会充実
4. 季刊誌発行の継続

厚生労働省科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）

平成 23 年度 分担研究報告書

高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究

(H22-こころ-008)

研究分担者 丸石正治 県立広島大学保健福祉学部教授

研究要旨

各県ともに、地域拠点を中心とした支援体制が構築され、障害者の生活支援ならびに家族支援が充実してきた。特に、①モデル事業で作成された高次脳機能障害診断基準に準じた診断体制、②高次脳機能障害に関する相談支援体制、については、各県拠点施設で充実した内容に至った。しかしながら、①県内での地域差解消、②在宅高次脳機能障害者の支援、については、一層の努力が必要と考えられた。

A. 各県の拠点施設の指定、相談支援の普及、支援技術の向上、について、研究目的
各県独自の判断によって活動がなされ、かつ全国平均から見ても十分な相談支援が実施されている。
23年度は、さらに各県の活動充実し自律的継続可能な体制作りを目的とした。

B. 研究方法

①中国ブロック高次脳機能障害連絡協議会を設け、各県支援拠点施設の高次脳機能障害支援コーディネーターと、各県家族会代表者による委員会を構成した。各県行政担当者がオブザーバーとして参加した。

②ブロック研修会を年度ごとに各県持ち回りで実施した。

(倫理面への配慮)

本研究で用いられたデータは個人が特定できないようにされたデータのみを使用した。個人情報の公開については、本人およびご家族の同意を得るよう、書面によるインフォームドコンセントを徹底した。

C. 研究結果

1. 中国ブロック会議の体制

厚生労働省「高次脳機能障害支援ネットワーク」研究班の趣旨に則り、各県の支援コーディネーター、家族会代表、医療関係者から委員を構成し、協議会を組織した。各県行政担当者はオブザーバー参加とした。会議委員長はブロック統括である丸石正治が、副委員長は岡山県の種村純教授が務めた。

(委員長)

広島県立リハセンター高次脳機能センター長 丸石正治

(副委員長)

川崎医療福祉大学教授 種村 純

(岡山県委員) 医師1名、コーディネーター1名、家族会1名

(島根県委員) 医師1名、コーディネーター2名、家族会1名

(鳥取県委員) 医師1名、コーディネーター1名、家族会1名

(広島県委員) 医師1名、コーディネーター1名、作業療法士1名、家族会1名

(山口県委員)

コーディネーター2名、家族会1名 (オブザーバー)

行政担当者5名、コーディネーター2名

1. 平成23年度高次脳機能障害地域支援ネットワーク中国ブロック協議会

日時：平成24年 3月 9日（金）11：00～16：30

場所：広島県立障害者リハビリテーションセンター

2. 平成23年度高次脳機能障害地域支援ネットワーク中国ブロック研修会

高次脳機能障害の支援に関して、広島県の取り組み状況を通じて各県の状況の情報交換を実施し、地域支援体制の充実を図る。

日時：平成24年 3月 9日（金）11：00～16：30

場所：広島県立障害者リハビリテーションセンター

内容：①広島県高次脳機能センター見学・紹介

②作業療法・言語療法グループ訓練を中心に訓練の提示と質疑応答。

3. 各県の活動状況

岡山県	
支援拠点機関 (電話番号)	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎医科大学附属病院 086-462-1111 ・社会福祉法人 旭川荘 086-245-7361
支援Cd (職種)	<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士 ・相談専門員
相談者数 (12月末)	(直接相談) ・来院/来所438 ・電話/メール/書簡132 (間接相談) ・来院/来所38 ・電話/メール/書簡317
その他の 活動実績	①ワーキンググループ活動の実施 (失語WG) ・失語症者に対する福祉サービス全国実態調査を実施 ・失語症者を対象とした日中活動を週1回(水曜日・午後)実施 ・川崎医療福祉大学のST及び学生ボランティアによることばの訓練、社会的な情報の理解の支援など実施 (小児WG) ・岡山県教育行政関係者との高次脳機能障害児の支援検討を継続 ・小児期発症ケースの評価と認知リハビリテーションの現状、問題点について実態調査の検討を開始 (医療WG) ・症例検討会の実施 (福祉WG) ・日中活動の実施 ・日中活動への失語症者の受入年金受給や成年後見制度の利用支援 ・職場復帰相談。 (地域連携WG) ・県北や作業所、家族会への協力 ②脳外傷友の会モモが実施する生活版ジョブコーチ事業への協力 ③脳外傷友の会モモや工房かたつむり、シードの会活動への協力 ④受診サポート手帳の配布 ⑤高次脳機能障害に関する研修を実施する機関への協力(講師派遣)

	⑥岡山県の人が利用する可能性が高い隣接県の医療機関を3カ所訪問して、岡山県の拠点機関を周知する活動を実施⑦地域における研修会の開催 ⑧講習会の開催「当事者と家族からみた高次脳機能障害」 ⑨グループワークと家族支援の実施 ⑩旧リーフレットの更新 ⑪高次脳機能障害学会等での発表 ⑫高次脳機能障害をテーマとした他機関の研究への協力 ⑬精神科領域における高次脳機能障害者支援を探るためWGの立ち上げと、岡山県内の精神科医療機関を対象とする第1次実態調査を実施。
特徴および課題など	①失語症者への支援 実態調査、グループワーク、日中活動等の実施。 ②小児への支援 小児期発症ケースの病態と認知リハビリテーションについてより詳細な検討を実施。 ③精神科領域における高次脳機能障害者の支援について検討を行う。 ④相談対象者の累積 過年度に相談した患者（利用者）へのフォローアップが必要になっている。 相談窓口とつながりが切れないようにすること。

島根県	
支援拠点機関 (電話番号)	[県支援拠点機関] 島根県立心と体の相談センター (TEL0852-21-2885) エスポアール出雲クリニック (TEL0853-21-9779) [圏域支援拠点] (松江圏域) 厚生センター相談支援事業所 (TEL0852-60-0400) (雲南圏域) そよかぜ館・そよかぜ館別館 (TEL0854-45-0020) (出雲圏域) エスポアール出雲クリニック (TEL0853-21-9779) (大田圏域) 亀の子サポートセンター (TEL0854-84-0273) (浜田圏域) 西部島根医療福祉センター (TEL0855-52-2442) (益田圏域) 益田市障害者福祉センターあゆみの里 (TEL0856-31-5100) (隠岐圏域) 太陽 (TEL08512-2-5699)
支援 Cd (職種)	全県担当1名 (心理技術者) 圏域担当7名 (精神保健福祉士、社会福祉士、相談支援専門員)
相談者数 (12月末)	当事者/家族からの直接相談延べ件数 電話 438 件、来院/来所 799 件、メール・書簡 44 件、その他 (訪問・出張・同行等) 241 件 機関・施設等からの間接相談延べ件数 電話 722 件、来院/来所 119 件、メール・書簡 35 件、その他 (訪問・出張・同行等) 89 件
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 7圏域に相談支援拠点の設置し、各圏域毎にネットワーク会議、ケース検討会議を開催 支援機関職員を対象とした派遣研修の実施 新聞等を活用した広報 研修会の開催 (全県、圏域単位) 高次脳機能障がい支援普及啓発ポスター、リーフレットの作成・配布

<p>次年度の活動 予定および課 題など</p>	<p>〔活動予定〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域相談支援拠点を中心とした圏域単位での支援ネットワークを構築する。 <p>※ネットワーク会議、ケース検討会議（各4回程度）を圏域毎に開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞等を活用した広報 ・ 研修会の開催等 <p>〔課題〕</p> <p>① 拠点施設、ネットワーク整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域相談支援拠点におけるアセスメントの充実、専門性の確保 <p>② 人材育成・普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般的な普及啓発研修の充実及び支援関係者の資質向上 ・ 小児高次脳機能障がい者の支援 ・ 地域住民の障がいに対する理解の向上 <p>③ 医療と福祉の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域相談支援拠点と医療機関との連携の充実
----------------------------------	--

鳥 取 県	
<p>支援拠点機関 (電話番号)</p>	<p>鳥取大学医学部附属病院（脳神経外科高次脳機能外来） 電話：0859-38-6767</p>
<p>支援 Cd (職種)</p>	<p>1名（社会福祉士）</p>
<p>相談者数 (12月末)</p>	<p>支援拠点 相談対応延べ件数 534件（当事者・家族、医療機関・行政等） 家族会 相談対応延べ件数 443件（当事者・家族、医療機関・行政等）</p>
<p>活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療専門職の職能団体（OT, ST）が会員を専門研修に派遣、伝達研修等を開催する経費を助成 <p><拠点の活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高次脳機能障がい支援者研修会の開催（10月、2月） ・ 地域の支援機関に対して、講演による啓発 <p><家族会の活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話や訪問による相談活動 ・ 県内3カ所で家族会定例会を開催 ・ 個別支援会議に参加（全県） ・ 「在宅支援をすすめる会」活動 ・ 各地域の精神障害者家族会活動参加
<p>次年度の活動 予定および課 題など</p>	<p><次年度の活動予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来創設時より受診経過のある方へのフォロー、神経心理検査などによる再評価 ・ 実務者に対する高次脳機能障がいに対する研修会 ・ 相談支援活動、定例会の開催。 ・ 各地域でのつながり・支援を密にしていく活動

	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期病院から退院された患者さんで、医療や福祉にすぐつながらない方への政策が必要 ・特化した生活、就労、介護施設がない。家族を含めた支援の構築が必要 ・高次脳機能障がい疑いを持つ方の掘り起こしが必要 ・医療機関・支援機関の理解にばらつきがある→すべての医療科に理解が必要 ・長期に渡る継続的な支援をする人がいない→県全体の相談支援体制強化 ・家庭内問題の調整が難しく支援が進まない→専門チームの確立が必要 ・子どもの高次脳機能障がいの対応が不十分→教育関係者との学習・話し合い
--	---

広島県																
支援拠点機関 (電話番号)	<p>広島県立障害者リハビリテーションセンター 広島県高次脳機能センター 電話番号 082-425-1455</p> <p>【地域支援センター】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">(広島)</td> <td style="width: 60%;">広島市総合リハビリテーションセンター</td> <td style="width: 30%;">082-848-8001</td> </tr> <tr> <td>(尾三)</td> <td>尾道市公立みつぎ総合病院</td> <td>0848-76-1111</td> </tr> <tr> <td>(福山・府中)</td> <td>脳神経センター大田記念病院</td> <td>084-931-8650</td> </tr> <tr> <td>(備北)</td> <td>三次地区医療センター</td> <td>0824-62-6328</td> </tr> <tr> <td>(広島西)</td> <td>廿日市記念病院</td> <td>0829-20-2300</td> </tr> </table>	(広島)	広島市総合リハビリテーションセンター	082-848-8001	(尾三)	尾道市公立みつぎ総合病院	0848-76-1111	(福山・府中)	脳神経センター大田記念病院	084-931-8650	(備北)	三次地区医療センター	0824-62-6328	(広島西)	廿日市記念病院	0829-20-2300
(広島)	広島市総合リハビリテーションセンター	082-848-8001														
(尾三)	尾道市公立みつぎ総合病院	0848-76-1111														
(福山・府中)	脳神経センター大田記念病院	084-931-8650														
(備北)	三次地区医療センター	0824-62-6328														
(広島西)	廿日市記念病院	0829-20-2300														
支援 Cd (職種)	2名 (社会福祉士・精神保健福祉士、相談支援専門員)															
相談者数 (12月末)	<p>支援拠点相談対応延べ件数 1820件</p> <p>うち新規相談者延べ件数 255件 (当事者・家族 132件 関係機関 123件)</p>															
活動実績	<p>医療リハビリ (入院・外来)</p> <p>院内家族セミナー (月2回開催 延べ 196名)</p> <p>高次脳機能障害研修会 (年1回 205名)</p> <p>地域の研修会への講師派遣</p> <p>関係機関との連携会議の開催及び参画</p>															
次年度の活動 予定および課 題など	<p><次年度活動予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携 (就労・就学・福祉・医療等) ・拠点施設機能の体制整備 (3年後をめどに高次脳機能障害者入院可能枠を現在20床から40床に拡大予定) ・広島県及び東広島市自立支援協議会、雇用関係会議等への参画 ・広島県高次脳機能障害連絡協議会の開催 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援センターとの連携及び未設置地域の解消 ・地域の社会資源の開拓 (地域包括支援センターおよび相談支援事業所との連携) ・小児への支援 (発達障害児支援機関や、教育機関、当センター小児科との連携) 															

山 口 県	
支援拠点機関 (電話番号)	山口県身体障害者福祉センター 電話番号：083-925-2345
支援Cd(職種)	作業療法士 2名(専任、兼任各1名)
相談者数 (12月末)	本人・家族 388件(電話相談 96件、対面相談 292件) 関係機関等 396件(電話相談 212件、対面相談 184件)
その他の活動 実績	高次脳機能外来(県立こころの医療センター) 2回/M やまぐちリハビリの会 6回/Y 研修会等への講師派遣 県立大学の演習授業とのコラボレーション企画 学会発表 高次脳機能障害普及パンフレット・小冊子作成
特徴および課 題など	[当面する課題] ・医療との連携強化(普及啓発の促進、診断等対応可能な医療機関の掘り起し) ・地域支援ネットワークづくり(圏域レベル) ・利用可能な社会資源の掘り起し、地域で支援に携わる人材の育成

3. 研修会、講演会(講師派遣も含む)

【岡山県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H23. 5. 13	京都大原記念病院 病病連携研修会		「外傷性脳損傷による高次脳機能障害」 椿原 彰夫
H23. 8. 4	日本赤十字広島看護 大学認定看護師教育 課程第3回公開講座		「高次脳機能障害による摂食・嚥下障害—病態 と症状の基礎的知識—」 椿原 彰夫
H23. 10. 1	第57回佐賀リハビリ テーション研究会特 別講演		「外傷性脳損傷における高次機能障害」 椿原 彰夫
H23. 5. 21	兵庫・メディカ出版	200	「高次脳機能障害とは」、種村 純
H23. 6. 11	東京・メディカ出版	200	「高次脳機能障害とは」、種村 純
H23. 5. 29	岡山脳外傷モモ	30	「高次脳機能障害者との接し方」 種村 純
H23. 5. 29	工房かたつむり	30	「高次脳機能障害者との接し方」 種村 純

H23. 7. 16 ～18	京都・日本高次脳機能 障害学会	500	「失語症の診断と治療、標準失語症検査の概 要」 種村 純
H23. 8. 20	旭川荘療育アカデミ ー	23 人	後藤祐之
H23. 8. 22	京都高次脳機能研究 会	100	「岡山県の高次脳機能障害支援体制」 種村 純
H23. 9. 10	山口・昭和病院	100	「注意障害の評価とリハビリテーション」 種村 純
H23. 4. 22	鹿児島・高次脳機能研 究会	300	「右半球症候群の臨床」 種村 純
H23. 10. 9	大阪・臨床作業療法研 究会	100	「左頭頂・後頭葉損傷例の症状解釈」 種村 純
H23. 11. 11	鹿児島・日本高次脳機 能障害学会	1000	「失語症言語治療のエビデンス」 種村 純
H23. 10. 30	岡山・日本作業療法研 究学会	30	「遂行機能とワーキングメモリ、前頭葉機能の 認知神経心理学」 種村 純
H23. 12. 11	東京・日本言語聴覚士 協会	50	「前頭葉機能障害のリハビリテーション」 種村 純
H23. 12. 16	大学コンソーシアム 岡山	50	「もの忘れに克つ」 種村 純
H23. 9. 25	岡山リハビリテーション講習 会	197	「当事者と家族からみた高次脳機能障害」 関 啓子、柴本礼、今井雅子
H24. 2. 9	高次脳機能障害研修 会 (岡山県新見市)		高次脳機能障害の特性、岡山県における取り組 み、高次脳機能障害者の支援について 種村 純、後藤祐之、八木真美
H23. 8. 20	旭川荘療育アカデミ ー	23 人	後藤祐之
H23. 9. 15	介護支援専門員勉強 会(岡山市西部のケア マネの自主勉強会)	11 人	後藤祐之
H23. 12. 5	岡山旭東病院・岡山リ ハビリテーション病 院院内勉強会	65 人	後藤祐之

<執筆>	<書名>能登真一編集「高次脳機能作業療法学」,医学書院,2012年1月発行、を分担執筆		後藤祐之
------	---	--	------

【島根県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H23. 6. 4	高次脳機能障がい講演会「医療と福祉そして教育との連携」	医療・福祉等 支援関係者 (150)	高次脳機能障がい～島根県における現状報告～ 講師:県支援コーディネーター土江啓悦氏 他
H23. 6. 25	高次脳機能障がい者支援研修会(県・エスポアール出雲クリニック)	医療・福祉・ 行政等支援関係者、 当事者・家族 (300)	講演「高次脳機能障がい者支援の今後について」 講師 国立障害者リハビリテーションセンター 学院長 中島八十一氏 鼎談「地域でいきる！」 ・国立障害者リハビリテーションセンター 学院長 中島八十一氏 ・島根大学医学部 教授 山口修平氏 ・エスポアール出雲クリニック院長高橋幸男氏
H23. 8. 20	第1回しまね高次脳機能障害研究会(研究会)	支援関係者等 (110)	講演「地域で支える高次脳機能障害」 講師 首都大学東京 教授 渡邊修氏 事例検討会
H23. 9. 29	益田圏域高次脳機能障がい者支援研修会(益田保健所・益田市障害者福祉センターあゆみの里)	医療・福祉等 支援関係者、 当事者・家族 (94)	講演「だれにでも起こりうる高次脳機能障がいと認知症」 講師 エスポアール出雲クリニック 院長 高橋幸男氏
H23. 10. 11 H23. 10. 12	高次脳機能障がい者支援研修(県警察本部)	県警本部交通 部関係課長、 各警察署課長 外(55)	講演「高次脳機能障がい者への支援について」 講師 県支援コーディネーター 土江啓悦氏
H23. 11. 10	雲南高次脳機能障がい者支援研修会(そよかぜ館、雲南高次脳機能障害者家族会)	当事者・家族、 医療・福祉等 支援関係者 (100)	講演「高次脳機能障がいについての理解と支援」 講師 エスポアール出雲クリニック 院長 高橋幸男氏
H23. 12. 17	しまね高次脳機能障がいリハビリテーション	医療・福祉・ 行政等支援関	講演「高次脳機能障がい ところで支えるリハビリテーション」

	講習会（実行委員会）	係者、当事者・家族 (300)	講師 国立成育医療研究センター 発達評価センター長 橋本圭司氏 自ら語ろう コーディネーター 橋本圭司氏 「高次脳機能障がいとともに生きる 私たちにできること」
H24. 2. 11	第2回しまね高次脳機能障害研究会（研究会）	支援関係者等 (150)	講演「自立を支援する生活版ジョブコーチ」 講師 岐阜医療科学大学 教授 阿部順子氏 事例検討会
H24. 2. 17	高次脳機能障がい者支援研修会（県央保健所・亀の子サポートセンター）	民生委員・医療・福祉等支援関係者、当事者・家族 (100)	講演「楽しく実践！当事者・家族のための支援ネットワークづくり」 講師 広島県立障害者リハビリテーションセンター 機能回復訓練部 作業・言語療法科 科長補佐 川原 薫氏
H24. 2. 18	高次脳機能障がい者支援研修会（県・東部島根医療福祉センター）	教育・医療・福祉・行政等支援関係者、当事者・家族 (150)	講演「小児の高次脳機能障がいについて～発達障がいとの共通性～」 講師 神奈川県総合リハビリテーションセンター 小児科部長 栗原まな氏 座談会「島根県における小児高次脳機能障がいの現状と今後の取り組み」 ・神奈川県総合リハビリテーションセンター 小児科部長 栗原まな氏 ・島根県浜田市立佐野小学校校長 恩田仁志氏 ・東部島根医療福祉センター医長 平岩里佳氏 ・県支援コーディネーター 土江啓悦氏

【鳥取県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H23. 5. 15	鳥取県高次脳機能障害者家族会全県研修会 （高次脳機能障害者家族会）	家族会 会員・支援者 37人	・鳥取県の障害福祉施策について 講師：県障がい福祉課足立課長・森下主事
H23. 7. 17	鳥取県高次脳機能障害者家族会西部地区研修会 （高次脳機能障害者家族会）	家族会 会員・支援者 15人	・高次脳機能障害家族の援助要請プロセス ・災害支援に参加して 講師：県西部総合事務所福祉保健局 保健師 片平志保
H23. 8. 18	高次脳機能障がい支援普及事業関係者連絡会	支援者、家族会、行政関係	事例検討会を開催

	(事例検討)(県西部総合事務所福祉保健局)	者 44人	
H23. 9. 4	作業療法士実務者研修 (県作業療法士会)	作業療法士、 支援者、当事 者・家族 45人	「施設の役割」講師：エスポアール出雲クリ ニック院長 高橋幸男 「高次脳機能障害への支援・連携」講師：エス ポアール出雲クリニック 小林成人
H23. 9. 29	高次脳機能障がい支援 研修会(県東部総合事 務所福祉保健局)	医療・保健・ 福祉・行政等 支援関係者、 当事者・家族 150人	・高次脳機能障害の基礎知識 講師：鳥取県精神保健センター所長 原田豊 ・家族会会員体験発表 ① 西尾さん(当事者) ②尾崎さん(当事者家 族)
H23. 10. 1	平成23年度第1回 高次脳機能障がい支援 研修会(支援拠点)	医療・保健・ 福祉・行政等 支援関係者、 当事者・家族 126人	講演 東京福祉大学 社会福祉学部 教授 先崎章 「高次脳機能障害の理解と対応 社会的行動 障害・精神症状を中心に」 関東中央病院 脳神経外科 部長 吉本智信 「頭部外傷と高次脳機能障害」
H23. 11. 15	家族関係を調整する研 修会(在宅支援をすす める会)	相談員・支援 者・家族 34人	・家族会会長 森田多賀枝：高次脳の支援につ いて発表 アドバイザー：竹田先生(鳥取大学保健学科・ 心理士)
H23. 11. 20	鳥取県高次脳機能障害 者家族会西部地区研修 会(高次脳機能障害者 家族会)	家族会会 員・支援者 22人	・高次脳機能障害と家族会活動について 講師：濱田小夜子さん(広島家族会)
H23. 11. 27	鳥取県高次脳機能障害 者家族会東部地区研修 会(高次脳機能障害者 家族会)	家族会会 員・支援者 16人	・東部地区の支援の現状について 講師：護田裕子さん
H23. 11. 27	H23 高次脳機能障害支 援事業関係職員研修会 伝達講習(県作業療法 士会)	作業療法士 14人	高次脳機能障害支援事業関係職員研修会の伝 達 宮崎篤(済生会境港総合病院) 中村枝里子(博愛病院)
H23. 12. 3	鳥取県高次脳機能障害 者家族会中部地区定例 会・研修(高次脳機能 障害者家族会)	家族会会 員・支援者 11人	・障害者支援制度の利用と就労支援について 講師：西浦崇恭さん(津山ハローワーク・当事 者)
H24. 1. 9	鳥取リハビリテーショ	当事者・家族	小児の高次脳機能障害～発達障害との関連性

	ン講習会 (鳥取リハビリテーション講習会実行委員会)	医療・福祉関係者・一般 200人	～ 講師：栗原まな先生(神奈川県リハビリテーション病院) 脊髄損傷のリハビリテーション 講師：酒井ひとみ(関西福祉科学大学) 高次脳機能障害患者支援を通して 高次脳機能障害者家族会会長 森田多賀枝
H24. 1. 29	山陰言語聴覚士協会講演会(山陰言語聴覚士協会)	言語聴覚士・医療・福祉関係者 78人	「STが新たに患者さんのためにできること～覚醒下手術における当院での取り組み」：黒川清博
H24. 2. 25	平成23年度第2回高次脳機能障がい支援研修会(支援拠点)	医療・保健・福祉・行政等支援関係者、当事者・家族 (150人予定)	「病院退院後の支援における課題」 鳥取生協病院 地域医療連携・相談室 医療ソーシャルワーカー 森本克規 「高次脳機能障がいの方への地域生活支援について」八頭町障がい相談支援センター 相談支援専門員 小河和泉 「支援の工夫について」障がい者支援センターしらはま 相談主幹 山根あゆみ 「高次脳機能障がい患者様に対する復職への支援」野島病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 濱田匡一 「息子とともに高次脳機能障がいに向き合った10年間」高次脳機能障害者家族会 東部支部長 西垣真由美 「脳損傷の軽微なケースにおける高次脳機能障害のとらえ方考え方～事例を通して～」 鳥取医療センター 院長 下田光太郎
H24. 3. 17	山陰言語聴覚士協会講演会(山陰言語聴覚士協会)	言語聴覚士、医療・福祉関係者 (100～150人予定)	「失語症・高次脳機能障害について(仮)」：大槻美佳

【広島県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
-----	-------------------	-------------	---------------

H23. 5. 13	職場内研修	ひかり園職員 20名	高次脳機能障害について 作業療法士 富田 昭 コーディネーター 隅原 聖子
H23. 6. 11	日本リハビリテーション医学会専門医・認定医生涯教育研修会	リハビリ科 医師 50名	高次脳機能障害の診断評価と就労支援 医師 丸石正治
H23. 7. 4	広島県介護職研修会	介護職 80名	高次脳機能障害の理解と対応 医師 丸石正治
H23. 7. 15	広島県西部地区保健研修会	保健師、リハ 関係職種	高次脳機能障害について 医師 丸石正治
H23. 8. 18	障害程度区分認定調査員研修会	認定調査員 30名	高次脳機能障害の特性と理解 コーディネーター 隅原 聖子
H23. 8. 25	障害程度区分認定調査員研修会	認定調査員 30名	高次脳機能障害の特性と理解 コーディネーター 隅原 聖子
H23. 9. 2	平成23年度第1回障害者雇用関係機関連絡会	呉安芸地域 雇用関係機 関 49名	グループワーク（事例検討） 作業療法士 川原 薫 コーディネーター 高上 清人
H23. 9. 20	広島市東区ケアマネージャー研修会	ケアマネー ジャー 40名	高次脳機能障害の特性と支援について コーディネーター 隅原 聖子
H23. 9. 21	安佐北区介護支援専門員連絡協議会研修会 安佐北区介護支援専門員連絡協議会	ケアマネー ジャー、介護 職員 100名	高次脳機能障害とは ～病院から在宅への支援ネット～ 作業療法士 福田奈津子
H23. 9. 28	ひろしま医工連携・先進医療イノベーション拠点セミナー	医師、エンジ ニア、行政職 40名	脳医学の観点からの脳機能と機能評価 医師 丸石正治
H23. 10. 29	精神保健福祉士 ソーシャルワーク研修	精神保健福 祉士 40名	高次脳機能障害の理解と支援 コーディネーター 隅原 聖子
H23. 11. 12	高次脳機能障害学会ワークショップ	医師、リハビ リ関連職 200名	前頭葉損傷における高次脳機能障害の脳画像の進歩 医師 丸石正治
H23. 11. 23	平成23年度高次脳機能障害研修会	当事者、家 族、専門機 関の方 205名	「高次脳機能障害 ―回復するステージの役割と課題―」 総合司会 県立広島大学 保健福祉学部コミュニケーション障害学科准教授 本多 留美

			<p>広島県における高次脳機能障害支援体制について</p> <p>広島県健康福祉局健康対策課課長 岸本益実 回復期リハビリテーション病院の現状と課題 西広島リハビリテーション病院副理事長 岡本 隆嗣</p> <p>広島県高次脳機能センターの取り組み 広島県高次脳機能センター次長 近藤 啓太 障害者支援施設から クラブハウス・シェイキングハンズ スタッフ 山田 京子</p> <p>当事者・家族の立場から 家族 赤木 睦子 当事者 高橋 里佳</p>
H23. 11. 24	企業内ジョブサポートリーダー養成研修	企業内担当者 20名	<p>身体障害・高次脳機能障害の特性理解と職場での対応方法</p> <p>コーディネーター 高上 清人</p>
H23. 12. 10	平成 23 年度近畿身体障害者更生施設協議会近畿ブロック身体障害者更生施設協議会	更生施設協議会会員施設職員、市民 100名	<p>高次脳機能障害への生活支援 ～関わりのヒント～</p> <p>作業療法士 川原 薫</p>
H24. 1. 16	相談支援従事者現任研修	相談支援従事者 120名	<p>地域生活支援事業における取り組み</p> <p>コーディネーター 隅原 聖子</p>
H24. 1. 18	企業内ジョブサポートリーダー養成研修	企業内担当者 20名	<p>身体障害・高次脳機能障害の特性理解と職場での対応方法</p> <p>コーディネーター 隅原 聖子</p>
H24. 1. 22	山口県リハビリテーション研修会	当事者、家族、専門職 400名	<p>脳からみる社会的行動障害</p> <p>医師 丸石正治</p>
H24. 2. 15	企業内ジョブサポートリーダー養成研修	企業内担当者 20名	<p>身体障害・高次脳機能障害の特性理解と職場での対応方法</p> <p>コーディネーター 高上 清人</p>
H24. 2. 17	平成 23 年度島根県高次脳機能障がい者支援大田圏域研修会 島根県	県域内関係者、行政	<p>楽しく実践！当事者・家族のための支援ネットワークづくり</p> <p>作業療法士 川原 薫</p>
H24. 2. 29	施設内研修	ニューライフ君田職員	<p>高次脳機能障害の理解と支援</p> <p>コーディネーター 隅原 聖子</p>

--	--	--	--

【山口県】

開催日	研修会・講演会の名称 主催者	対象者 参加人数	プログラム内容 講師
H23. 6. 6	「やまぐちリハビリの会」と演習授業のコラボ企画(当所・山口県立大学主催)	大学生等 16名	高次脳機能障害についての理解 講師 作業療法士 石原 弥生
H23. 6. 13	「やまぐちリハビリの会」と演習授業のコラボ企画第2回(当所・山口県立大学主催)	大学生等 17名	グラフィックファシリテーションで想いを共有 講師 作業療法士 石原 弥生他
H23. 6. 20	「やまぐちリハビリの会」と演習授業のコラボ企画第3回(当所・山口県立大学主催)	大学生等 17名	質問により深め、想いを共有 講師 作業療法士 石原 弥生
H23. 6. 27	「やまぐちリハビリの会」と演習授業のコラボ企画第4回(当所・山口県立大学主催)	大学生等 17名	企画作成 講師 作業療法士 石原 弥生
H23. 7. 4	「やまぐちリハビリの会」と演習授業のコラボ企画第5回(当所・山口県立大学)	大学生等 16名	企画案をチャレンジ、ワールドカフェ方式振り返り 講師 作業療法士 石原 弥生他
H23. 7. 25	山口コ・メディカル学院講義(山口コ・メディカル学院主催)	学生等 13名	高次脳機能障害について 講師 作業療法士 石原 弥生
H23. 8. 5	相談支援従事者現任研修(山口県主催)	相談支援従事者等 43名	高次脳機能障害支援普及事業について 講師 作業療法士 石原 弥生
H23. 8. 11	平生町介護支援専門員情報交換会(平生町主催)	介護支援専門員等 20名	高次脳機能障害について 講師 作業療法士 石原 弥生、藤井 美緒
H23. 8. 27	山口県作業療法士会のSIG 第1回高次脳機能障害の勉強会(当	作業療法士 59名	スクリーニング検査から見えること 講師 作業療法士 石原 弥生、藤井 美緒

	所・山口県作業療法士会主催)		
H23. 9. 8	「やまぐちリハビリの会」と演習授業のコラボ企画第7回(当所・山口県立大学)	大学生等 16名	企画案の見直し 講師 作業療法士 石原 弥生他
H23. 9. 9	「やまぐちリハビリの会」と演習授業のコラボ企画第8回(当所・山口県立大学)	大学生等 16名	企画案をチャレンジ、ワールドカフェ方式振り返り 講師 作業療法士 石原 弥生他
H23. 10. 22	山口県作業療法士会のSIG 第2回高次脳機能障害の勉強会(当所・山口県作業療法士会主催)	作業療法士 23名	個別アプローチから見えること 講師 作業療法士 石原 弥生、藤井 美緒
H23. 11. 25	周南地域医療連携協議会研修会(周南地域医療連携協議会主催)	医療関係者等 54名	高次脳機能障害について 講師 作業療法士 石原 弥生
H23. 12. 4	高次脳機能障害支援研修会(当所主催)	医療関係者等 122名	医療から地域・福祉へつなぐ支援 講師 神奈川県リハビリテーション支援センター 高次脳機能障害相談支援コーディネーター 瀧澤 学
H23. 12. 11	山口県作業療法士会のSIG 第3回高次脳機能障害の勉強会(当所・山口県作業療法士会主催)	作業療法士 16名	集団アプローチから見えること 講師 作業療法士 石原 弥生

D. 考察

中国ブロックでは、各県が独自の判断で高次脳機能障害支援を実施し、全国水準と比較しても十分な実施状況にあると考えられる。

今後の課題として、県内における地域差解消、在宅生活での社会資源の活用など、地域で検討すべき問題が掲げられている。

E. 結論

引き続き、支援普及のためのブロック単位での活動を実施するとともに、国立障害者リハビリテーションセンターならびに厚生労働省との連絡協議を通じたより一層の充実を図りたい。

F. 研究発表

1. 論文発表

- Keita Kondo, Masaharu Maruishi, Hiroki Ueno, Kozue Sawada, Yukari Hashimoto, Tomohiko Ohshita, Tetsuya Takahashi, Toshiho Ohtsuki , and Masayasu Matsumoto. The pathophysiology of prospective memory failure after diffuse axonal injury- lesion-symptom analysis using diffusion tensor imaging. BMC Neuroscience, 11:147 ,2010 2011
- 熊田真宙・吉田弘司・橋本優花里・澤田梢・丸石正治・宮谷真人 (2011). 表情認識における加齢の影響について—表情識別閾の測定による検討— 心理学研究, 82 2011

2. 学会発表

- 日本高次脳季報障害学会ワークショップ 丸石正治：fMRI による前頭葉機能の解析
20111112
- 日本高次脳季報障害学会 近藤啓太，丸石正治ら，原発性脳室内出血による高次脳機能障害の特徴
20111112
- 日本高次脳機能障害学会，橋本優花里，丸石正治ら高次脳機能障害患者の表情認識能力に関する研究 (3) 20111112
- 日本高次脳機能障害学会，澤田梢，丸石正治ら高次脳機能障害患者の表情認識能力に関する研究 (4) … 20111112
- 日本リハビリテーション医学会中国四国地方会 丸石正治 外傷性脳損傷における表情認知の研究 201106026
- 厚生労働省半研究報告書：高次脳機能障害における地域支援ネットワークの研究 2010

G. 知的財産権の出願・登録

特になし